

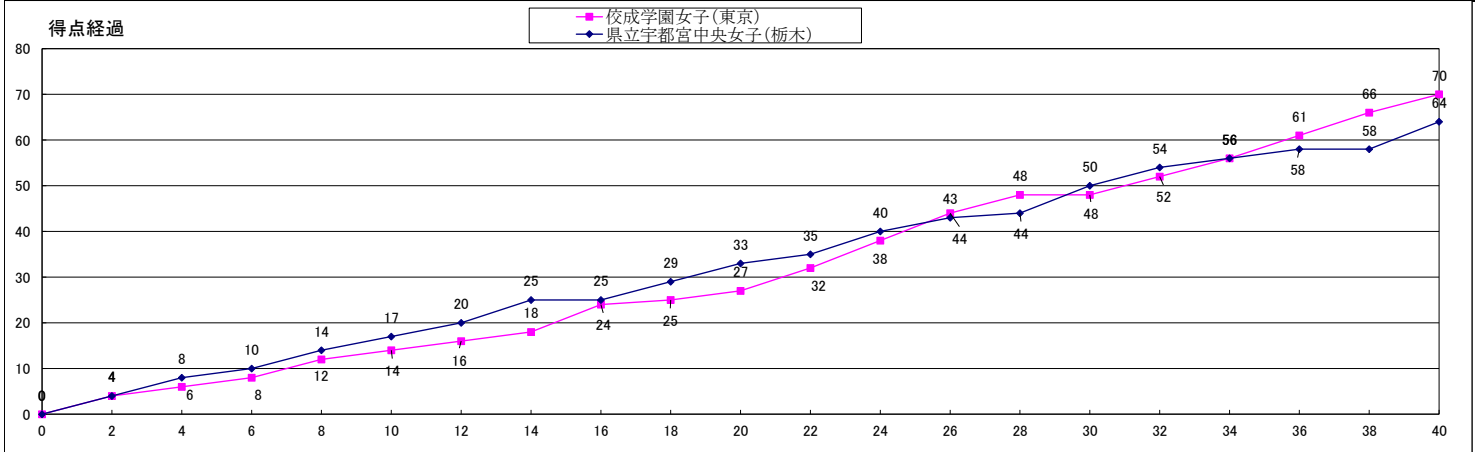
試合No.	D5	大会名	平成30年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第72回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会								
		期 日	平成30年 6月 8日(土)		会 場		とどろきアリーナ				
女子2回戦		主 審	菊池 真吾		副 審	安藤 俊明・中島 孝博					
		チーム名			1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計
		県立宇都宮中央女子(栃木)			17	16	17	14			64
		校成学園女子(東京)			14	13	21	22			70

県立宇都宮中央女子(栃木)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス						
黒川 莉那 (CAP)	* 4	4	0	1	0%	1	4	25%	2	2	100%	0	4	0	0	0	0	2	
稲葉 美里	* 5	6	0	7	0%	1	7	14%	4	4	100%	0	5	2	0	0	1	2	
菅谷 夏海	* 6	13	0	0		6	8	75%	1	2	50%	2	4	3	0	1	0	2	
川田 佳那子	* 7	16	3	5	60%	2	4	50%	3	4	75%	0	1	0	1	0	0	0	
北 野乃葉	8	3	1	4	25%	0	1	0%	0	0		0	0	2	1	0	0	1	
内村 日南	9	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	2	0	1	1	2	0	
山口 香織	10																		
手塚 若奈	11																		
飯島 歩香	12																		
加藤 友季子	13																		
菊田 侑里	* 14	16	1	1	100%	6	11	55%	1	1	100%	0	3	2	1	0	0	5	
永田 圭純	15																		
石川 リン	16																		
山下 桜子	17	4	0	1	0%	2	3	67%	0	0		0	0	0	0	0	0	1	
横島 楓華	18																		
コーチ	下島 健一																		
合計		64	5	19	26%	19	39	49%	11	13	85%	2	19	9	4	2	3	13	

校成学園女子(東京)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス						
網谷 萌夏 (CAP)	* 4	1	0	1	0%	0	0		1	2	50%	0	0	1	0	0	0	3	
益永 萌央	5																		
西山 郁乃	* 6	25	0	0		10	11	91%	5	7	71%	4	4	0	1	1	2	4	
赤松 夏愛	* 7	19	2	15	13%	5	8	63%	3	6	50%	0	2	1	1	1	0	1	
高野 祭	* 8	4	0	5	0%	2	7	29%	0	0		3	9	1	2	1	0	0	
井出 仁菜	9	7	1	1	100%	2	7	29%	0	0		0	1	1	4	1	0	0	
西堀 夏緒	* 10	10	1	1	100%	2	6	33%	3	6	50%	2	3	4	3	0	1	2	
栗田 圭子	11	0	0	0		0	2	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
佐藤レイナ	12	4	0	0		2	3	67%	0	0		0	2	2	0	1	1	4	
安西 涼雲	13																		
小森 安奈	14																		
清水 芽衣	15																		
橋本 亜磨	16																		
島田 真希	17																		
川端 真白	18																		
コーチ	結城 葉月																		
合計		70	4	23	17%	23	44	52%	12	21	57%	9	21	10	11	5	4	14	



戦評

1P 両チームマンツーマンでスタート。両チームともに立ち上がりからテンポよく試合を進めて持ち味を出し、ディフェンスの粘り強さを見せているため、なかなかシュートが決まらず得点が伸びない。終盤に宇中女#14がバスケットカウントを決めて17-14と宇中女がリードして第1P終了。

2P ハーフコートオフェンスをしっかりとコントロールして得点に結びつける宇中女に対して、校成はシュートを打つも得点が伸びない。しかし、校成が粘り強いディフェンスで宇中女のミス誘うと#6のリバウンドシュートで1点差まで詰めると宇中女タイムアウト。校成がフリースローで追いつくが、オフェンスをコントロールした宇中女が確実に得点を重ね、33-27宇中女リードで前半終了。

3P 先に決めたのは校成#9の3pts。入り方のいい校成が#12のジャンプシュートで追いつき、1-2-2ゾーンプレスから1-3-1ゾーンに変える。残り5分、校成#7がシュートを決めて43-40となったところで宇中女タイムアウト。宇中女はなんとか食い下がり、残り1分、#6のポストプレーで逆転に成功。50-48宇中女リード

4P 僅差を争う試合展開に早く主導権をつかみたい両チーム。宇中女は#6、#14、校成は#6、#7を中心に得点を狙い、一進一退の攻防となる。この展開から抜け出したのは校成。#7の速攻からの得点で63-58とリードしたところで宇中女タイムアウト。宇中女は#7の3ptsで抵抗し、活路を見出そうとするが、最後まで集中力を切らさなかった校成が2年連続でベスト4に進出した。